

# 第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名 : 宮崎県 土木部 都市計画課

事業の名称 : 宮崎広域都市計画道路 生目通線(新大塚工区)  
街路事業 いきめとおりせん

実施都市名 : 宮崎県 宮崎市

# 事業の目的

都市計画道路 いきめ とおりせん 生目通線は、宮崎市天神山公園を起点とし福島町大塚町、桜ヶ丘町を經由し、宮崎市平和台大橋西詰を終点とする延長4,770m、幅員25mの都市計画道路であり、宮崎市の内環状線に位置づけられている。

今回整備を行った新大塚工区は、現道幅員約3m程度の一方通行道路で、背後にある大塚台団地や生目台団地をはじめとした車両により慢性的に交通混雑が発生していたしました。

交通を円滑にし、自転車・歩行者の安全の確保と宮崎市内の渋滞緩和のため、事業区間の472mを整備したものです。

# 事業概要 ( 1 )

事業名:宮崎広域都市計画道路 生日通線(新大塚工区)  
街路事業

路線名:生日通線(新大塚工区)

事業箇所:宮崎市大塚町宮田 ~ 宮崎市大塚町原ノ前

事業延長:  $L = 472\text{ m}$

幅員:  $W = 25\text{ m}$  (車道(4車線)  $16\text{ m}$  歩道(両側)  $9\text{ m}$ )

事業費:約37億円

事業期間:平成10年度 ~ 平成16年度

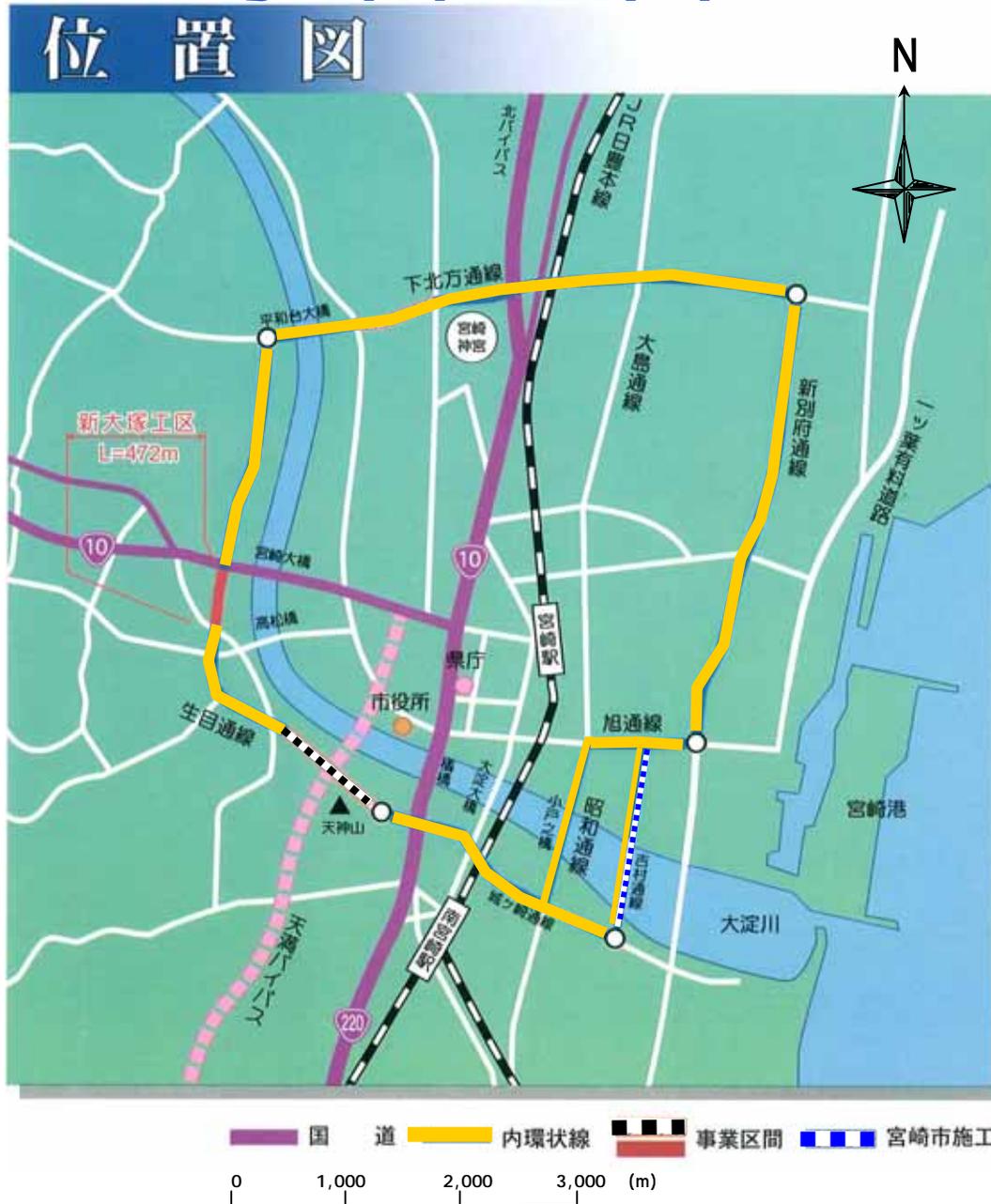
# 事業概要(2)

本事業は、宮崎市中心部の渋滞緩和を図るため、県と市で整備を進めている宮崎内環状線の一部を構成する生目通線における大塚町の未整備区間472mを整備したものである。

現道は、幅員3m程度の車両一方通行規制の道路であり、交通のネックとなっていました。

今回、車道4車線、両側歩道の幅員25mで整備を実施し、交通の円滑化を行うことにより、大塚地区を含む宮崎市内の渋滞緩和と自転車・歩行者の安全確保を図った。

# 事業位置図



# 全体図(航空写真、事業箇所写真、標準断面図)

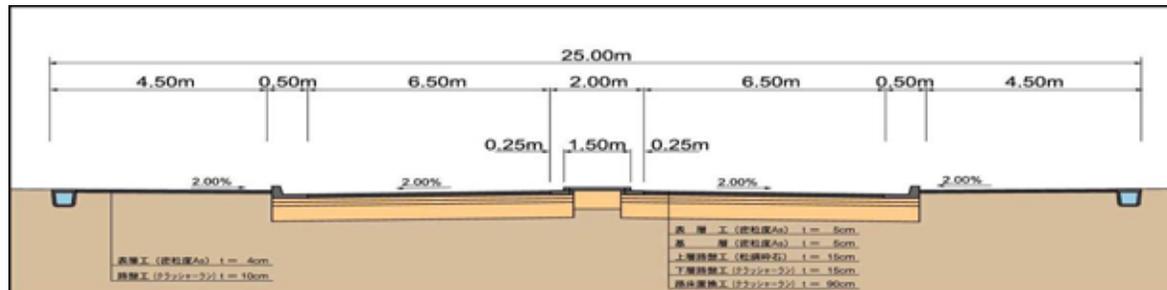
航空写真



事業箇所写真



標準断面図

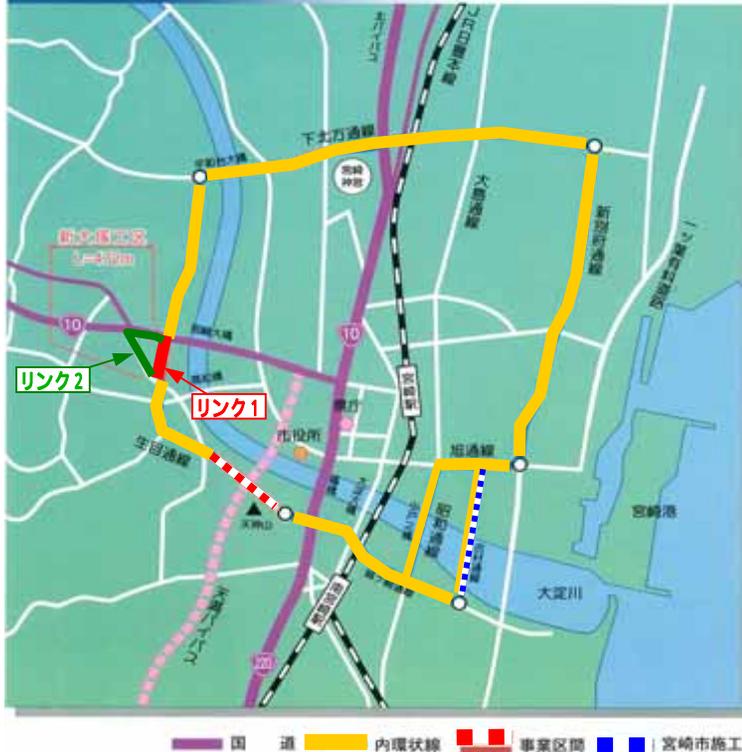


# 生目通線(新大塚工区)の整備効果アピール資料

## 事業概要

事業名:宮崎広域都市計画道路  
生目通線(新大塚工区)街路事業  
路線名:生目通線(新大塚工区)  
事業箇所:宮崎市大塚町宮田  
~宮崎市大塚町原ノ前  
事業延長:472m  
幅員:25m(4車線)  
総事業費:約37億円  
事業期間:H10~H16年度

## 位置図



## 「整備効果」

現道の交通規制(一方通行)の解除による交通の円滑化

宮崎内環状線の整備により、宮崎市内の渋滞緩和に大きく貢献

移動時間の短縮(約2.5分)

バイパス整備に伴い、交通の流れが生目通線に移行し、移動距離と移動時間が短縮

- ・移動時間 約3.5分(リンク2) 約1.0分(リンク1)
- ・移動距離 約1.25km(リンク2) 約0.55km(リンク1)



事業前

H16.3



事業後

H18.2

# 整備状況写真



事業前 H10.3

事業後 H18.2



# 整備状況写真



事業前 H16.3



事業後 H18.2



事業前 H16.3



事業後 H18.2

## 整備状況写真



事業前 H16.3



事業後 H18.2



事業前 H16.3



事業後 H18.2